

事業所名	グループホーム 白寿荘 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成20年 2月 6日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 社会福祉法人生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー B:現職 簡易郵便局経営 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、要介護認定調査員
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) 職員は、個々の入居者に尊敬の念を持ち、個別ケアを大切にしながら全体のケアレベルを維持向上できるように、チームワークを重視したグループケアの推進を目指している。 入居者個々の経歴・生活経験を把握し、出来ることは意欲的にする毎日の蓄積が本人の自信となるよう取り組んでいる。 ターミナルケアを早くから取り入れ、人間としてのプライドと尊厳を維持した豊かなホーム生活を送ってもらい、最後まで同じ家族としてお世話できるように取り組んでいる。 職員は、家族との信頼関係を深め、ホームを我が家として安心して任せてもらえる家庭的ケアの場を目指している。 特別養護老人ホームを中心とする併設施設との連携を活かし、合同レクリエーション、リハビリテーション、行事参加等、併設施設との関係が生かせるように努力している。 「福祉施設は、地域共同体の上に存在している」という基本観念から、地域運営推進会議等地域との連携機能の確保に重点を置き、地域との協働体制の確立を目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) 職員は、入居者と一緒に季節を題材に話をしたり、テレビや音楽と一緒に聞いたしてお互いが打ち解けられる雰囲気作りを行い、入居者が疎外感を持たないように支援している。 明るく穏やかな職員の接遇態度が、入居者への潤いのある介護に繋がると考えている。管理者は職員の話をよく聞き、職員が笑顔でケアに入れる場作りを心掛けている。 入居者が無為に日を過ごすことなく、一生涯懸命に生きている姿を映し出せるように職員は働き掛け、入居者の尊厳を守る心のケアを目指している。 いろはカルタ等を利用し、言葉で分からない事があれば入居者から意味を教えよう等、コミュニケーションを大切にしながら入居者が孤独感を感じないように努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>東北の中心、津山市に隣接し、幹線道路が交差する中山間地の小高い丘を切り開いた高台にホームはあり、四季の移り変わりを感じられる環境である。</p> <p>合併前の久米郡中央町の奥望を担って設立された社会福祉法人が母体となり、東北で初めてのグループホームとして定員6名で発足した。以来、認知症ケアの先駆的役割を果たし、地域関係者に深い信頼と高い評価を得ている。</p> <p>隣接する鏡野町の総合病院と医療提携があり、緊急時には24時間対応可能で入院にも応じてもらえ、入居者は安心してホーム生活を送れる。</p> <p>職員からは、常に人生の先輩である入居者から学ばせられ、若い人、ベテランと世代が交じり合っており、入居者にとっては子供や孫のような存在になって心理的に好影響をもたらしている。職員のチームワークは良く、笑顔とやさめ介護を行っている。</p> <p>入居者・家族に配慮し、グループホームの利用に伴う負担金を低額に設定しており、入居者・家族に大変好評である。</p> <p>最近開所した、白寿荘小規模多機能ホーム「みさき」としっかりと連携しており、互いに補い合って相乗効果が生まれている。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
特に無い。
<p>管理者は職員と心を合わせ、理念である「チームワークで以って、個人ケアを大切に」にふさわしい協働・介護体制をさらに整備し、家族・地域の関係者等との連携をより密接にされるならば、併設施設共々、より一層地域が大きな信頼を寄せざるを得ない中心となると期待する。</p>

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) 入居者の経験を把握し、個々の特徴・能力を尊重し引き出す働き掛けをしている。職員は、入居者を人生の先輩として敬い、その経験と知恵を尊重している。 入居者の尊厳に留意し、トイレ誘導は小声で優しく呼び掛け、居室にはノックをして了解を得てから入室するようにしている。個人の相談については、他の人の前ではなく居室で話し、個人のプライバシーを保護するようにしている。 入居者の個人情報類は、事務室で管理者が責任を持って保管しており、個人情報もしっかりと管理されている。入居者が入院した時には、居室には鍵を掛けている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) 「白寿荘だより」を毎月発行し、地域にグループホーム「白寿荘」を始め、関連施設を紹介して情報を提供している。また、地域運営推進会議を通じて地域関係者の意見を積極的に取り入れ、住民サービス及び介護サービスの質向上に向けて努力している。 グループホームとしての、共同生活に関する各種関連マニュアル、緊急体制マニュアル等を整備し、職員の誰が介助しても変わらぬ対応で、安全・安心のケアが提供できるように努めている。 安全・安心な共同生活の実現を一番に留意し、年3回、入居者も参加して夜間及び昼間の火災等を想定した避難訓練を実施し、緊急時に向けて備えている。 些細な事故やヒヤリハット、家族からの相談等を細かく検討して記録に残している。その経過や対応を「事故処理書つづり」としてまとめ、事故・トラブルの再発防止に努めている。		